

# 勝林寺寺報

娘にことづして  
「直次さん、そのまま死ねばよいがな  
あ」と語ったと言います。



今日は、龍谷大学の学長信楽先生の「  
法話を紹介させていただきます。  
どこで死んでも

昔の人のよんだこんな歌があります。  
「かたつむり どこで死んでも わが家  
かな」  
かたつむりといふのは、いつも自分の  
家を背負って歩いているから、どこで死  
んでもわが家の座敷のどまんなかという  
意味です。

この歌は、如来にすでに救いとられて  
いる者、お念佛に生かされているものの、  
死に対する基本の味わい、心構えを教え  
たことばだと思います。

真宗信心を深く生きた有名な念佛者、  
鳥取の足利源左さんについてこんな話が  
残っています。  
源左さんの友達に直次さんという人が  
おりました。この直次さんが年老いて死  
の床につきました。直次さんも日頃よく  
おみのりを聞いてはいましたが、いよい  
よ自分自身が死んでいかねばならないと  
なると、心のなかに様々な疑いごころ、  
不安な心がうまれてきました。そしてこ  
のままでは、とても死ねそうにはありま  
せんでした。死に臨んで死ねなくなつた  
のです。  
そこで源左さんにその悩みをうつたえ  
たところ、源左さんもまた、年老いて死  
の床についていました。しかし、源左さ  
んは、直次さんの悩みを聞いて、その孫

すでに仏のみ手の中に居る、如来の家  
の中に住んで居ることを忘れているから、  
死ねない訳でしょ。  
何時でも何処でも、死が訪れたら「そ  
のまま死ねばよいがなあ」です。  
苦惱を抱きながら生きていけるのも如  
來の家の中なればこそ。  
死もまたほとけのみ手の中、大悲の光  
明のただなかの出来事なのです。



平成六年十一月三十日 菩提儀  
豊岡市鉢山 但東町東里  
足立吉田大様 (勝林寺責任役員)

## 弔辭

勝林寺責任役員 森戸三代治さまのご逝去  
にあたり 勝林寺門信徒を代表して 謹んで  
弔辭を捧呈致します。

森戸三代治さまは あの終戦の混乱期に  
選ばれて わが寺勝林寺の門徒総代に就任。  
爾來五十年 錐意わが寺勝林寺の 謙持發  
展につくして来られました。  
思うに 森戸さまの 門徒総代としての  
この五十の間に 勝林寺は 世間刮目にあた  
いする 発展をとげて参りました。

前住職とともに 遷如上人450回忌法要  
を 全国の寺院に先駆けて お勤めされたこ  
とを手始めに ご門主さま・お裏さまのご巡  
教をお受けするなど 寺院としての栄誉を高  
めてくださいました。 そしてその間 とく

に勝林寺の堂宇の改築・内装・お莊嚴の完  
備には 森戸さまが 中心的におはたらき下  
さったことは 衆目の見るところであります。  
いま わが寺勝林寺のたたずまいを見ると  
さき、いすことして (あと) のないところはありません。

庫裏の東側全面改築、茶室の新築、本堂廊  
下・天井の改築、本堂内陣の床張替、または  
仏具お莊嚴のかずかずに至るまで 森戸さま  
の寺に対する懇念の跡のないところはあり  
ません。

その 勝林寺の大黒柱 責任役員森戸三代  
治さまを わたしたちは今忽然として失いま  
した。

慨嘆の極み 言うことばもございません。

人生無常の理、会者定離(えしゃじょうり)  
お教えを平素聞かせていただいているもの  
ご健在であらせただけに 森戸さまのご  
回復・再起を願い望んでいた私たちの愚かさ  
を 今となっては嘆くばかりでございます。

勝林寺にとって われわれ門信徒にとって  
大きな星であった森戸さまは お淨土に静  
かにお帰りになりました。

空を仰ぎ 地を打つて 嘆いても すでに  
帰らぬ繰り言であります。

今は 死き森戸さまと共に ここに静かに  
お念佛申し そのお念佛のなかで 森戸さま  
と語らせて いただくよりありません。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏  
お念佛にさせられて わが寺勝林寺へお参  
りさせていただきましょう。

そこには あそこにもここにも 森戸さま  
の寺に寄せられた熱い思いが いまもあり  
ありと残されております。

勝林寺にのこされた森戸様のご功績をよ  
りどころに わたしたちお念佛のおみのりを  
仰いでいこうと念じます。

ありと残されております。  
勝林寺にのこされた森戸様のご功績をよ  
りどころに わたしたちお念佛のおみのりを  
仰いでいこうと念じます。

一月五日(日) 諸議題  
午前十時 理事会  
午後一時 総会

二月五日(日) 諸議題  
午前九時半より

会計決算報告と予算  
規約一部改正

年間行事報告と計画  
役員改選

年間行事報告と計画  
規約一部改正

年間行事報告と計画  
役員改選

年間行事報告と計画  
役員改選

年間行事報告と計画  
役員改選

年間行事報告と計画  
役員改選

年間行事報告と計画  
役員改選

## 一月のことみ



十四日	中央研修講師研修会(本山)
十五日	(至二十二日夜まで) 鳥取山根願正寺報恩講
二四日	新潟教区仏婦研修会
二六日	清水儀一氏宅法事
二七日	ダーナの日
二八日	中央仏教学院講義
二九日	永井正人氏宅法事
三十日	勝林寺仏壯理事会
一月一日	成田保氏宅法事
一月二日	中央実習(大谷本廟)
一月三日	中央実習
一月四日	松原△会
一月五日	勝林寺仏壯理事会
一月六日	勝林寺仏壯理事会
一月七日	勝林寺仏壯年会
一月八日	勝林寺
一月九日	仏教青年壮年会
一月十日	ダーナの日
一月十一日	中央仏教学院講義
一月十二日	永井正人氏宅法事
一月十三日	勝林寺仏婦研修会
一月十四日	中央研修講師研修会(本山)
一月十五日	(至二十二日夜まで) 鳥取山根願正寺報恩講
一月十六日	新潟教区仏婦研修会
一月十七日	清水儀一氏宅法事
一月十八日	ダーナの日
一月十九日	中央仏教学院講義
一月二十日	永井正人氏宅法事
一月二十一日	勝林寺仏壯理事会
一月二十二日	成田保氏宅法事
一月二十三日	中央実習(大谷本廟)
一月二十四日	中央実習
一月二十五日	松原△会
一月二十六日	勝林寺仏壯理事会
一月二十七日	ダーナの日
一月二十八日	中央仏教学院講義
一月二十九日	永井正人氏宅法事
一月三十日	勝林寺仏壯理事会
二月一日	成田保氏宅法事
二月二日	中央実習(大谷本廟)
二月三日	中央実習
二月四日	松原△会
二月五日	勝林寺仏壯理事会
二月六日	ダーナの日
二月七日	中央仏教學院講義
二月八日	永井正人氏宅法事
二月九日	勝林寺仏壯理事会
二月十日	成田保氏宅法事
二月十一日	中央実習(大谷本廟)
二月十二日	中央実習
二月十三日	松原△会
二月十四日	勝林寺仏壯理事会
二月十五日	ダーナの日
二月十六日	中央仏教學院講義
二月十七日	永井正人氏宅法事
二月十八日	勝林寺仏壯理事会
二月十九日	成田保氏宅法事
二月二十日	中央実習(大谷本廟)
二月二十一日	中央実習
二月二十二日	松原△会
二月二十三日	勝林寺仏壯理事会
二月二十四日	ダーナの日
二月二十五日	中央仏教學院講義
二月二十六日	永井正人氏宅法事
二月二十七日	勝林寺仏壯理事会
二月二十八日	成田保氏宅法事
二月二十九日	中央実習(大谷本廟)
二月三十日	中央実習
三月一日	松原△会
三月二日	勝林寺仏壯理事会
三月三日	ダーナの日
三月四日	中央仏教學院講義
三月五日	永井正人氏宅法事
三月六日	勝林寺仏壯理事会
三月七日	成田保氏宅法事
三月八日	中央実習(大谷本廟)
三月九日	中央実習
三月十日	松原△会
三月十一日	勝林寺仏壯理事会
三月十二日	ダーナの日
三月十三日	中央仏教學院講義
三月十四日	永井正人氏宅法事
三月十五日	勝林寺仏壯理事会
三月十六日	成田保氏宅法事
三月十七日	中央実習(大谷本廟)
三月十八日	中央実習
三月十九日	松原△会
三月二十日	勝林寺仏壯理事会
三月二十一日	ダーナの日
三月二十二日	中央仏教學院講義
三月二十三日	永井正人氏宅法事
三月二十四日	勝林寺仏壯理事会
三月二十五日	成田保氏宅法事
三月二十六日	中央実習(大谷本廟)
三月二十七日	中央実習
三月二十八日	松原△会
三月二十九日	勝林寺仏壯理事会
三月三十日	ダーナの日
四月一日	中央仏教學院講義
四月二日	永井正人氏宅法事
四月三日	勝林寺仏壯理事会
四月四日	成田保氏宅法事
四月五日	中央実習(大谷本廟)
四月六日	中央実習
四月七日	松原△会
四月八日	勝林寺仏壯理事会
四月九日	ダーナの日
四月十日	中央仏教學院講義
四月十一日	永井正人氏宅法事
四月十二日	勝林寺仏壯理事会
四月十三日	成田保氏宅法事
四月十四日	中央実習(大谷本廟)
四月十五日	中央実習
四月十六日	松原△会
四月十七日	勝林寺仏壯理事会
四月十八日	ダーナの日
四月十九日	中央仏教學院講義
四月二十日	永井正人氏宅法事
四月二十一日	勝林寺仏壯理事会
四月二十二日	成田保氏宅法事
四月二十三日	中央実習(大谷本廟)
四月二十四日	中央実習
四月二十五日	松原△会
四月二十六日	勝林寺仏壯理事会
四月二十七日	ダーナの日
四月二十八日	中央仏教學院講義
四月二十九日	永井正人氏宅法事
四月三十日	勝林寺仏壯理事会
五月一日	成田保氏宅法事
五月二日	中央実習(大谷本廟)
五月三日	中央実習
五月四日	松原△会
五月五日	勝林寺仏壯理事会
五月六日	ダーナの日
五月七日	中央仏教學院講義
五月八日	永井正人氏宅法事
五月九日	勝林寺仏壯理事会
五月十日	成田保氏宅法事
五月十一日	中央実習(大谷本廟)
五月十二日	中央実習
五月十三日	松原△会
五月十四日	勝林寺仏壯理事会
五月十五日	ダーナの日
五月十六日	中央仏教學院講義
五月十七日	永井正人氏宅法事
五月十八日	勝林寺仏壯理事会
五月十九日	成田保氏宅法事
五月二十日	中央実習(大谷本廟)
五月二十一日	中央実習
五月二十二日	松原△会
五月二十三日	勝林寺仏壯理事会
五月二十四日	ダーナの日
五月二十五日	中央仏教學院講義
五月二十六日	永井正人氏宅法事
五月二十七日	勝林寺仏壯理事会
五月二十八日	成田保氏宅法事
五月二十九日	中央実習(大谷本廟)
五月三十日	中央実習
五月三十一日	松原△会
五月三十二日	勝林寺仏壯理事会
五月三十三日	ダーナの日
五月三十四日	中央仏教學院講義
五月三十五日	永井正人氏宅法事
五月三十六日	勝林寺仏壯理事会
五月三十七日	成田保氏宅法事
五月三十八日	中央実習(大谷本廟)
五月三十九日	中央実習
五月四十日	松原△会
五月四十一日	勝林寺仏壯理事会
五月四十二日	ダーナの日
五月四十三日	中央仏教學院講義
五月四十四日	永井正人氏宅法事
五月四十五日	勝林寺仏壯理事会
五月四十六日	成田保氏宅法事
五月四十七日	中央実習(大谷本廟)
五月四十八日	中央実習
五月四十九日	松原△会
五月五十日	勝林寺仏壯理事会
五月五十一日	ダーナの日
五月五十二日	中央仏教學院講義
五月五十三日	永井正人氏宅法事
五月五十四日	勝林寺仏壯理事会
五月五十五日	成田保氏宅法事
五月五十六日	中央実習(大谷本廟)
五月五十七日	中央実習
五月五十八日	松原△会
五月五十九日	勝林寺仏壯理事会
五月六十日	ダーナの日
五月六十一日	中央仏教學院講義
五月六十二日	永井正人氏宅法事
五月六十三日	勝林寺仏壯理事会
五月六十四日	成田保氏宅法事
五月六十五日	中央実習(大谷本廟)
五月六十六日	中央実習
五月六十七日	松原△会
五月六十八日	勝林寺仏壯理事会
五月六十九日	ダーナの日
五月七十日	中央仏教學院講義
五月七十一日	永井正人氏宅法事
五月七十二日	勝林寺仏壯理事会
五月七十三日	成田保氏宅法事
五月七十四日	中央実習(大谷本廟)
五月七十五日	中央実習
五月七十六日	松原△会
五月七十七日	勝林寺仏壯理事会
五月七十八日	ダーナの日
五月七十九日	中央仏教學院講義
五月八十日	永井正人氏宅法事
五月八十一日	勝林寺仏壯理事会
五月八十二日	成田保氏宅法事
五月八十三日	中央実習(大谷本廟)
五月八十四日	中央実習
五月八十五日	松原△会
五月八十六日	勝林寺仏壯理事会
五月八十七日	ダーナの日
五月八十八日	中央仏教學院講義
五月八十九日	永井正人氏宅法事
五月九十日	勝林寺仏壯理事会
五月九十一日	成田保氏宅法事
五月九十二日	中央実習(大谷本廟)
五月九十三日	中央実習
五月九十四日	松原△会
五月九十五日	勝林寺仏壯理事会
五月九十六日	ダーナの日
五月九十七日	中央仏教學院講義
五月九十八日	永井正人氏宅法事
五月九十九日	勝林寺仏壯理事会
五月一百日	成田保氏宅法事
五月一百零一日	中央実習(大谷本廟)
五月一百零二日	中央実習
五月一百零三日	松原△会
五月一百零四日	勝林寺仏壯理事会
五月一百零五日	ダーナの日
五月一百零六日	中央仏教學院講義
五月一百零七	

